

大和川水系ミュージアムネットワーク事業

大和川付け替え300周年 記念企画展Ⅱ

2004年

7月10日（土）～

8月29日（日）



大和川遠景

大和川を掘る



船橋遺跡

文化財講演会

7月25日（日） 午後1時～4時

阪田育功氏（大阪府教育委員会）

「古大和川の流路変遷」

工楽善通氏

（大阪府立狭山池博物館館長）

「狭山池はどう築かれたか」

8月1日（日） 午後1時～4時

山田幸弘氏（藤井寺市教育委員会）

「大和川堤防の調査」

田中清美氏（財）大阪市文化財協会）

「大和川堤防と五十間樋の調査」

定員60名（12時30分より受付）

無料・申し込み不要

柏原市立歴史資料館

開館時間 9時30分～16時

休館日 月・火曜日と祝日

入館料 無料

交通 JR大和路線高井田駅から徒歩5分

近鉄大阪線国分駅から徒歩15分

大阪府柏原市高井田1598-1 TEL 0729-76-3430

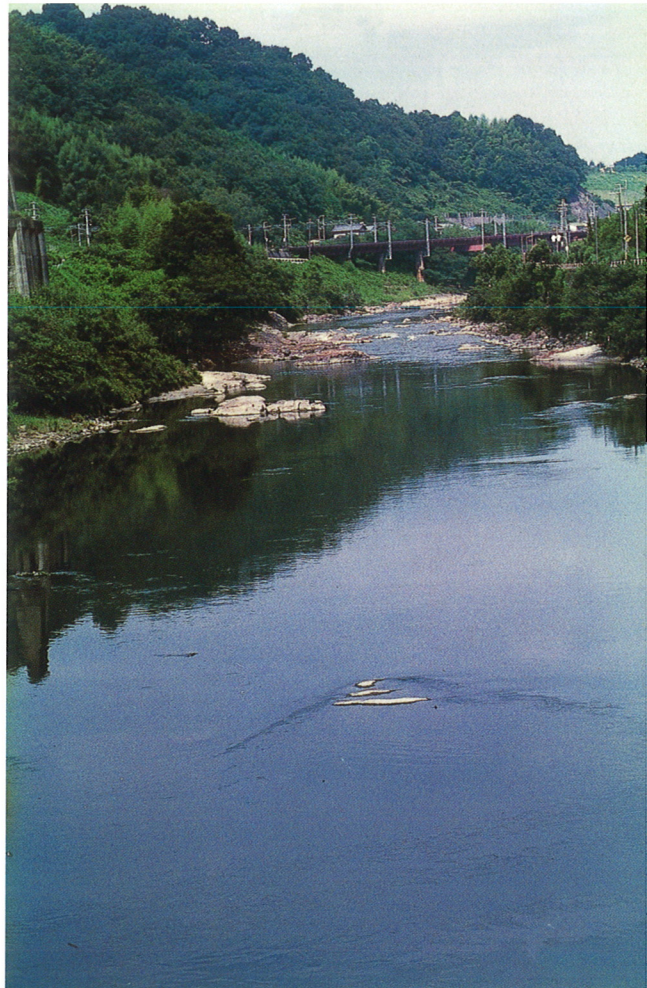
大和川付け替え300周年記念企画展Ⅱ

大和川を掘る

宝永元（1704）年、洪水をくり返す大和川は、柏原から西へと付け替えられました。それから300年。いまの大和川は太古より流れていたかのような表情をみせています。しかし、大阪平野を発掘調査すると、付け替えまでの大和川が、そして洪水の跡が各所で確認されます。今回の展示では、八尾市の亀井遺跡・小阪合遺跡・佐堂遺跡をとりあげ、その調査成果の一部を展示しています。

また、新大和川が遺跡の中心部を通過することになった船橋遺跡など、柏原市内の遺跡についても紹介しています。そして、300年前に築かれた新大和川の堤防や狭山池、池島・福万寺遺跡などの調査成果にも触れました。

もとの大和川がどのような姿だったのか、そして新しい大和川がどのように築かれ、大阪平野がどのように変化していったのか。今回の展示では、大和川の歴史を発掘調査成果をもとに、たどってみたいと思います。



亀ノ瀬

大和川水系ミュージアムネットワーク

新旧大和川水系に位置する7つの博物館・資料館が、協力して大和川付け替え300周年記念事業に取り組んでいます。ぜひ、ほかの博物館・資料館へも足を運んでください。

◎大東市立歴史民俗資料館「大和川付け替えと深野池」8月3日～8月31日 ☎072-873-3521

◎シンポジウム 11月14日（日） 10：00～16：00 於・大阪歴史博物館講堂

基調講演・村田路人氏（大阪大学教授）・中九兵衛氏（中甚兵衛十代目）

ミュージアムネットワーク関係者による報告とパネルディスカッション

◎スタンプラリー 7館に設置してあるスタンプを4つ集めると記念品を進呈します。（スタンプ設置は各館の大和川関連展示期間中に限ります。8月3日から開始の予定です。）



築留

ミュージアムネットワーク参加館と展示予定

大東市立歴史民俗資料館	8月3日～8月31日
大阪府立狭山池博物館	10月2日～11月28日
八尾市立歴史民俗資料館	10月2日～11月29日
大阪歴史博物館	10月27日～11月23日
松原市民ふるさとびあプラザ	11月18日～12月14日
堺市博物館	12月4日～1月30日
柏原市立歴史資料館 「つけかえから300年」	9月22日～12月5日